

メルディアグループ
三栄建築設計
by
AERA

アエラムック
企業研究
朝日新聞出版

今日も、家をつくる

特集 第2

家づくりに

かける想い



"Design Your Life"

家は、人生の「器」であり

家族の暮らしが生まれる場所。

住む人の笑顔のために

三栄建築設計は家をつくる。

その哲学とたしかな技術

それを支える社員の姿に迫る。



建売分譲住宅にしかできない家づくりがある

辰巳 僕はルーフバルコニーが気に入りました。室内にいると隣の家が間近にあるなんてまづ

山口 も広く感じるのは、壁の白さと天井の高さの効果でしょうか。天井をつなげていることも、室内空間を広く見せていると思います。

辰巳 え? 本当に? それでもう一つ、部屋や廊下や廊など、境界を明確にせず、空間と空間をつなげていることも、室内空間を広く見せています。

山口 よくわかりますね! その通り、2800ミリです。辰巳 僕は身長が180センチあってほどでないと压迫感を感じるんですが、ここはそれがまるでない。ちなみに建坪は? 千葉 27坪ほどです。

山口 おっしゃる通り。そしてもう一つ、部屋や廊下や廊など、境界を明確にせず、空間と空間をつなげていることも、室内空間を広く見せています。

山口 たく感じさせないのに、屋根の上から見ると3種が一つの家のようにつながって見える。

山口 私はひそかに「空のコミニティ」と呼んでいます。各種のプライバシーは守られているのですが、屋上では気軽におしゃべり合えるイメージです。

千葉 分譲住宅だからこそできることがたくさんあるんです。辰巳 すばらしいコンセプトですね。分譲住宅とは思えません。

山口 建売分譲の場合、何棟かを一度につくることが多いですから、全体のコンセプトに統一感を出することができます。また、個々の家の窓が見合わないよう



ルーフバルコニーが二つあり、都心にいながら空を存分に楽しむ



Talking about SANET's Philosophy

三栄建築設計
新規開拓責任者・生産課長
【特別座談】千葉理恵×辰巳琢郎×山口東洋彦
同様
三栄建築設計
デザイン研究開発室 課長代理

「住む人の想いに寄り添う家を建売分譲住宅でもつくれますか?」

長らくリフォーム番組を担当し、数多くの「マイホーム」を訪ねてきた辰巳琢郎さん。建築に造詣の深い辰巳さんの目に、三栄建築設計の家はどのように映ったのだろうか。

文=神 嘉子 写真=品田裕美 スタイリング・内藤直子 ヘアメイク=鈴木ゆうき



敷地の良さは生かし
弱点は遊びに変える

辰巳 2階の洗面所の前に、小さな段差がありますね(写真④)。これはどうしてですか?

山口 斜傾斜で、ここが天井を下げなくていけなかつたんです。でも、ただ「天井の低い遊びのある空間にしてみました」。

辰巳 なるほど。だから積み木を重ねたみたいなおもしろい印象になっているんですね。

山口 敷地の良いところは存分

に生かし、弱点はおもしろさに転化するのが我々のやり方です。この家は、つくった人の「想い」が、ズバッと届く家ですね。三栄建築設計さん流のフレーバーが、あっちにもこっちにも振りかけられている。この家の個性を露向きに楽しもうと、いまの30代の人は、洋服でもそ

D照明などを使うことは、エネルギー問題の解決に大きく寄与しますから。

千葉 それが住宅メーカーの責任だと、私も思っています。

辰巳 家づくりで本当に大事なものは、見えない部分にあると思います。

山口 その通りです。私どもは、建築構造体に使う金物の開発もしています。三栄式羽子板ボルト(66ページ参照)は、経年や湿度による木材の変形に対応してゆがみから家を守ります。

千葉 そこには、吹き抜けの白い壁に、プロジェクターで映像が映せるような構造が喜ばれそうだと思いますから、映画好きなら図書室

に設計したり、隣の家の換気扇からの排気が入らないようにしたり、工夫もしやすいですね。

千葉 風の通り方など、最初に模型を並べて一生懸命考えます。

辰巳 三栄建築設計さんのボリューム番組の取材で何百軒のお宅を訪問してきましたが、「同じ家はたしかに一つもない。」だと聞きました。僕もり

フォーム番組の取材で何百軒のお宅を訪問してきましたが、「同じ家はたしかに一つもない。けれどそれは、住む人のニーズに合わせてリフォームするからこそ」をつくるのです。

千葉 少し話がそれるようですが、日本の家の理想は「デザイナーズの家」だと思うんです。

辰巳 庭があり、玄関が広くて、みんなが集まる居間がある。

千葉 でも、30坪では難しい。どこを捨てて、どこを筋力的にするのか考えなくてはいけません。だから「妄想」が必要です。

千葉 はい。たとえば、映画好きなご夫婦なら、吹き抜けの白い壁に、プロジェクターで映像が映せるような構造が喜ばれます。

千葉 少し話がそれるようですが、日本の家の理想は「デザイナーズの家」だと思うんです。

千葉 そこには、吹き抜けの白い壁に、プロジェクターで映像が映せるような構造が喜ばれます。

分譲住宅の経験を生かして街づくりにも取り組んでほしい

辰巳琢郎 俳優

たみ・たくろう／1958年生まれ。大阪府出身。京都大学卒業後、NHK連続テレビ小説『ロマンス』でデビュー。以来、知性・品格・遊び心をもつ俳優として活躍している。建築にも造詣が深く、『リフォーム夢家族』『リモ델企きらり』など10年以上リフォーム番組を担当した。



本当に大事なのは見えないとこにある

辰巳 ところで、断熱材はどん

うですけど、高級ブランドでもファストファッショニンでもない、そこそこ上質の国内ブランドのものを上手に選んでいるよう

を感じます。三栄建築設計さん

のキッチンは3種すべて異なるデザイン。2階の洗面所は、屋根を一段下げる必要があるスペース。天井を低く感じさせないよう、床も一段下げて空間を広く。都心の住宅とは思えない、大胆で大きな浴室の窓。プライバシーを考慮した設計だからこそ可能に。洗面所と浴室も、強化ガラスで仕切っているので一体的な空間に

になる中2階をつくりとか。年取から子どもの数、受けた教育まで徹底的に妄想します。

千葉 その妄想はどうなが

仕入れ、設計、工事、販売の担当者が最初からチームとして動きます。土地の特質や眺望、街の雰囲気などを考え合わせてメンバーでイメージを共有します。

辰巳 それが自分の欲しかった家だと、思ってくださった本意です。

千葉 本当に大事なことは、正しく施工された家をお客さまが見て、「こ

れが自分の欲しかった家だ」と思ってくださった本意です。

千葉 とも大事なことは、正しく施工されることです。

千葉 総社市属の職人には硝子職人協会のマイスター認定制度を利用して、断熱材やサッシ、LE

ルにはほかの断熱材に比べて断熱性能が低いというような誤解が多いのですが、最近のものは密度がしっかりとしていて、昔のものとは違います。そしてもう一度、「これがいい」と思っている

山口 さすが辰巳さん、目のつけどころが違いますね。高性能

グラスウールです。グラスウ



■リビング・ダイニング・キッチンはフロアム構成だが、床材の色と素材を変えることで、別の生活空間であることが自然に伝わる。高い吹き抜け、東西南北と天井に設置された窓で広さを感じさせ、一日の光の変化が生活にリズムを与えてくれる ■スイッチ一つでもこだわりを感じさせる ■特注のキッチンは3種すべて異なるデザイン ■2階の洗面所は、屋根を一段下げる必要があるスペース。天井を低く感じさせないよう、床も一段下げて空間を広く ■都心の住宅とは思えない、大胆で大きな浴室の窓。プライバシーを考慮した設計だからこそ可能に。洗面所と浴室も、強化ガラスで仕切っているので一体的な空間に



山口東洋彦

生産本部商品管理室
デザイン研究開発室 課長代理

やまとひとよし／1969年生まれ。東京都出身。イタリア政府奨学生留学(ミラノ工業大学)、世界各国のアトリエ訪問を経て2015年から現職。グッドデザイン賞など多数の受賞歴あり。



うですけど、高級ブランドでもファストファッショニンでもない、そこそこ上質の国内ブランドのものを上手に選んでいるよう

を感じます。三栄建築設計さん

のキッチンは3種すべて異なるデザイン。2階の洗面所は、屋根を一段下げる必要があるスペース。天井を低く感じさせないよう、床も一段下げて空間を広く。都心の住宅とは思えない、大胆で大きな浴室の窓。プライバシーを考慮した設計だからこそ可能に。洗面所と浴室も、強化ガラスで仕切っているので一体的な空間に